

⑤【一人ひとりの学びを

豊かにするための取組み】

生涯学習の時代といわれる中で、一人ひとりの学びを豊かにするための取組みが求められている。

そのために、総合的な情報提供と発信ができるよう情報の拠点を整備しIT社会に対応できる体制を構築する。

(主な事業名)

- ・ 生涯学習のあり方の検討 (文スポ)
- ・ 学術・文化・産業ネットワーク多摩との連携 (文スポ)
- ・ 講座、イベント、施設等ガイドの発行 (文スポ)
- ・ 学校図書館と市立図書館との連携 (学校図書館連携システム、図書搬送)
(図、学、庶)

◎ 日野市民文化祭 (文スポ)

- ・ 情報弱者に対する ICT 学びの場の提供 (豊田駅北交流センター) (文スポ)
- ・ 保育協力員制度 (文スポ)
- ・ スポーツレクリエーションフェスティバル、ウォーキング、スポーツ教室、楽楽トレーニング体操、新体力測定、市民体育大会の開催 (文スポ)
- ・ 復元住居等文化財施設の公開 (文スポ)
- ・ 発掘調査出土品の公開 (文スポ・資)
- ・ 学校への出張展示・解説 (文スポ・資)
- ・ 文化財に関する市民の学習の支援 (文スポ)
- ・ 文化財に関する普及・啓発事業の実施 (文スポ)

◎は評価対象事業

文スポ・・・文化スポーツ課

図・・・図書館

資・・・郷土資料館

学・・・学校課

庶・・・庶務課

事業の名称	社会教育事業(市民文化祭経費)		
基本方針	一人ひとりの学びを豊かにするための取り組み	事業経費	5,600千円
担当課	文化スポーツ課		
事業の目的			
日ごろ芸術文化活動を行う市民が日常活動の成果を発表する機会をつくり、市民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。			
事業の概要			
日野市文化協会に市民文化祭の運営を委託し市民参加による文化活動発表や交流を通して芸術文化の発展を図る。			
事業の成果・評価			
第46回目を迎えた市民文化祭は9月13日の開会式に始まり、11月23日の最終日までの2ヶ月間に渡り、文化協会加盟の27団体が日頃の成果の発表を行った。開会式では会長を始め加盟団体の一致団結により多くの観客を集め厳かに式典を行い、第2部において中学校6校による吹奏楽演奏で華やかに開会式を執り行った。開催期間中は各連盟の発表には文化協会加盟団体の努力により多くの観客を集め、盛況うちに最終日を迎えることが出来た。			
今後の課題			
日野市文化協会を中心として、各加盟団体が鋭意市民文化の向上を目指し市民文化祭を運営していることは評価に値する。今後の課題としては団体全体として高齢化が顕著となってきたので次世代の育成が必要である。			